



伝える！ つなげる！ ゴースマイル！

小宮の丘

教育目標

学校 HP : <http://hachioji-school.ed.jp/komye/>

〇かしこい子 〇たかましい子 〇ゆたかな子 〇みんなと仲よく生きぬく子

令和5年度 学校だより
八王子市立小宮小学校
発行責任者
校長 安藤 臣一
令和6年1月9日発行
第8号

保護者・地域の皆様とともにKDDを育てていきたい

校長 安藤 臣一

保護者、地域の皆様、令和6年の新春を迎えました。今年もどうぞよろしくお願いいたします。また、能登半島での震災で犠牲となられた方々に心よりご冥福をお祈りいたします。

さて、学校は3学期を迎えました。3学期は51日間。最も短い学期です。そして3学期は1年間のまとめの学期です。1年間の成長をふりかえり、次の学年の進級に向けて心構えを作っていけるように支援していきます。

さて、本校の図書ボランティアの皆さんが、小宮小のマスコットキャラクターである「かたつむりざむらい」と小宮小のキャッチフレーズである「KDD」をテーマにパネルシアターを作ってくださいました。もちろん全て完全オリジナルです。「KDD」のロゴもいくつかのアイデアを出し、その中から最終的に私も参加してロゴを決めさせていただきました。構想から製作まで相当な時間がかかったことと思われます。それでもお話を完成させ、読み聞かせの中で子どもたちにこのパネルシアターを見せてくださったのは、図書ボランティアの保護者の方々も小宮小が大好きで、小宮小に通う子どもたちのためにメッセージを届けたいという思いがあればこそです。本当に感謝してもしきれないくらいありがたく、うれしい気持ちになりました。

そこで、私はどうしてもこのパネルシアターを子どもたち全員に紹介したいと強く思い、この3学期の始業式で、紹介させていただきました。図書ボランティアの皆さんが考えてくださったお話のあらすじを右に紹介します。

いかがでしたか？保護者の方にも認知されてきたKDD。KDDは子どもたちの自立・主体・自主を言いかえたものです。この3つは学校だけでなく、生きていく上でとても重要なテーマです。

どうかまとめの3学期には学校とご家庭で力を合わせて子どもたちのKDDを育てていきましょう！

1月です。まだまだ寒さの厳しい季節です。子どもたちが元気に学ぶことができるようにご支援のほど、よろしくお願いいたします。



図書ボランティアの皆さんが作ってくださったパネルシアター

「かたつむりざむらいとKDDの子どもたち」あらすじ

6月の雨がしとしと降る肌寒い日、可愛いかたつむりの赤ちゃんが産まれました。

このかたつむりの赤ちゃんは、ちょっと殻が小さかったけれど、すくすくと大きくなりました。

そんなある日、強い風が吹いてきました。かたつむりは、葉っぱの陰でじっとしていましたが、ついに葉っぱと一緒に飛ばされてしまいました。

飛ばされてきたところが、小宮小学校でした。飛ばされてきたかたつむりを小宮小学校の6年生がを見つけました。そしてその6年生が、かたつむりが風で飛ばされたときに殻にひびが入っていることに気がきました。

そのことを知った6年生は、子どもたちだけで考え相談し、新しい殻を作ってかたつむりにプレゼントしてあげました。小宮小をイメージして新しい殻の上には小学校がのっています。

新しい殻をのせてもらったかたつむりは、心がほんわりと温かくなります。かたつむりが6年生にお礼を言うと6年生が次のように話しました。

「僕たちは6年生なんだ。卒業するまでにKDDできてよかった。小宮小学校はKDD（子どもだけでできる）をがんばっている学校なんだよ。」と。

そして春になり、その6年生が卒業をして、新しい1年生が入学してきました。1年生もかたつむりざむらいを見て、KDDで考えて、「ゴースマイル」の旗を作ってかたつむりざむらいにプレゼントしました。早速1年生もKDDを覚えました。

皆さんもみんなを笑顔にするKDDを探してみてね。